

玉野地区の振興計画作成

新維新  
議員 荒秀一



問 玉野地区の振興計画について問う。

答 地域住民の考えを基本に、実現可能な振興策の具体化を支援していきたい。

玉野地区では、東北中央道の一部区間が開通し、玉野小中学校の閉校後の利活用方法が協議されているが、環境に対する負荷や開発など様々な課題が山積しており、住民は将来に対する大きな不安がある。

自然が豊かで歴史がある地域が変わろうとしていくが、上位の振興計画を作成するべきと考え

玉野地区では、東北中央道の一部区間が開通し、玉野小中学校の閉校後の利活用方法が協議されているが、環境に対する負荷や開発など様々な課題が山積しており、住民は将来に対する大きな不安がある。

また、民間事業者による大規模な太陽光発電事業が計画されているが、地域住民の意見を踏まえ、地域環境に十分に配慮し、事業計画を作成するよう指導しているところである。

本年3月には、阿武隈東道路が開通し、今年度中には、伊達市霊山町掛田地区の霊山インターチェンジ（仮称）までの開通が予定されるなど、玉野地区での交通環境が整備されつつあり、地区内と国道115号を結ぶ市道の整備についても、地域住民のご要望を踏まえ、鋭意取り組みを進めているところである。

その他の質問  
・相馬市の人材育成を目指す機関設立  
・公設土取場の今後

復興復旧の総仕上げ

問 新たに建設した施設の維持管理費について問う。

答 新たに建設した10施設における平成29年度の維持管理費が約9、560万円である。



新維新  
議員 尾高雅夫

東日本大震災から6年8か月になり、復旧・復興の進捗は市民の目に見える形で進んできたと思

解をしている。

しかし、一方で新しい施設が多く建設されたが維持管理費の財源はどうするのか等、厳しい指摘があることも事実である。

施設の維持管理経費について問う。

東日本大震災から6年8か月になり、復旧・復興の進捗は市民の目に見える形で進んできたと思

解をしている。

しかし、一方で新しい施設が多く建設されたが維持管理費の財源はどうするのか等、厳しい指摘があることも事実である。

施設の維持管理経費について問う。

新たなに建設した施設の維持管理費について問う。

東日本大震災からの復興に伴い、新たに設置した10の施設における平成29年度の維持管理費の合計は約9、560万円

その他の質問  
・台風21号の被害状況及び、その対応状況

